



餅による窒息に注意！



年末年始の事故

年末年始には餅による窒息事故が毎年起きています。特に高齢者者は、かむ力や飲み込む力が弱くなり、窒息事故のリスクが高まるため、一層の注意が必要です。

事故を防ぐために

- ・餅は、あらかじめ食べやすい大きさに、小さく切っておきましょう。
- ・餅を食べる前にお茶や汁物を飲んで、喉を潤しておくとい良いでしょう。
- ・ゆっくりよく噛んで、唾液とよく混ぜ合わせてたべることが大切です。
- ・高齢者と一緒に食事をする際は、よく注意を払いましょう。



喉に物が詰まったら(・・?)

★傷病者の反応(意識)がある場合★
 傷病者に「のどが詰まったの?」と尋ね、声が出せず、うなずくようであれば、直ちに行動する。119番通報するとともに傷病者が強い咳をすることが可能であれば咳をできるだけ続けさせ、背部叩打法や胸部突き上げ法を実施する。

※チヨークサイン
 窒息を起こし、呼吸ができなくなったことを
 他人に知らせる共通のサイン

★背部叩打法★
 傷病者が立っている場合や座っている場合は傷病者の後方から片手の手のひらの付け根で両側の肩甲骨の間を数回以上力強く叩きます。



★腹部突き上げ法(ハイムリック法)★
 ①腕を後ろから抱えるように回す。
 ②片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそとみぞおちの中間部に当てる。
 ③その上をもう一方の手で握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。
 ※明らかな妊婦や高度な肥満者、乳児に対しては腹部突き上げ法は行わないこと。



呼びかけに反応がない場合又は、反応がなくなった場合は・・・
 ただちに胸骨圧迫による心肺蘇生を開始してください。

【問合せ先】

大	森消防署	03-3766-0119	田	園 調 布消防署	03-3727-0119
蒲	田消防署	03-3735-0119	矢	口消防署	03-3758-0119



年末年始の事故防止



暖房器具による火災

ストーブ火災の約8割は電気ストーブによるものです。ストーブは死者が発生した住宅火災の出火原因として、たばこに次いで多く、特に80歳を超える年齢層では、ワースト1位です。

ストーブ火災を防ぐために

布団などの可燃物がストーブに接触し火災に至る事例が多く発生しています！火災を発生させないために...

- 1 周囲には燃えやすい物を置かない！
- 2 ストーブの近くで洗濯物を干さない！
- 3 外出時や就寝時は必ず消す！
- 4 つけたままの状態では給油・補充をしない！
- 5 ストーブを壁から離すことも重要です！

※ストーブのそばでスプレー缶を使うと可燃性ガスが引火して危険です。



飲酒による事故防止

例年は、忘年会など飲酒する機会が増える12月に飲酒の事故が増加します。お酒の飲み方によっては、楽しいはずの時間が一転することも少なくありません。



飲酒時の注意点

- 自分の適量を知るとともに、その日の体調にも注意しましょう。
- 短時間に多量の飲酒(一気飲み)をすることはやめましょう。
- お酒が飲めない体質の方は、周囲の人に飲めない旨を事前に伝えておきましょう。
- 飲酒の無理強いはやめましょう。
- 周囲の人は酔った人に付き添い、一人にしないようにしましょう。
- 酔った人が吐いた場合、吐いたものが喉に詰まらないように注意しましょう。

